

# 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立第三中学校

## 1. 本年度の学力・学習調査結果の概要について

- ・ 全体的に無答率が低く、根気強く各設問に取り組む姿勢がみられます。
- ・ 国語科では、ここ数年の課題であった「言語の知識（漢字の読み書き）」に改善がみられました。昨年度の調査の結果から、漢字テストや定期テストのやり直し等にしっかり取り組んだ成果だと思われます。
- ・ 数学科では、主として知識を測る「A問題」では昨年度より力を発揮しているものの、主として活用力を測る「B問題」では、実力が発揮できず課題が見られます。
- ・ 規範意識は高く、ものごとを自らやり遂げる喜びや皆と協力することの喜びを実感し達成感は高いのですが、自尊心が低いという結果が出ています。ここ数年の本校の大きな課題となっています。

## 2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語 A 〈主として知識〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テスト等のやり直しに重点的に取り組んだ成果があらわれ、漢字や語句について実力がついてきています。</li> <li>・ 全体的に授業での学習成果が徐々に定着してきています。特に、楷書と行書の違いについての学習を通して、書写の問題の正答率が高く成果が見られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章の要旨を把握したり、描写を意識しての読解力が弱いと思われます。</li> <li>・ 事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話す、ということが苦手なようです。また、文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持つことが苦手な傾向が見られます。</li> </ul>
国語 B 〈主として活用〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的に無答率が低く、どんな問題でもあきらめずにしっかりと取り組もうとする姿勢が見られます。</li> <li>・ 記述式の設問に対する正答率が比較的高く、班での発表活動を含め、生徒が相互に意見交換をすることによって、考えが深まっているようです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選択式の設問では、迷うところが多いようなので、今後は読解力を高め、適切な答えを自信をもって選択できるよう、多くの問題に取り組ませたいと思います。</li> <li>・ 目的に応じて資料を効果的に活用して話したり、話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことなど、「話す・聞く能力」に課題が見られます。</li> </ul>
数学 A 〈主として知識〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四則計算や平面図形に関する設問について、基礎的、基本的な知識や技能が定着しており一定の学習成果が見られます。</li> <li>・ 「関数」や「確立」に関する問題での正答率が高く、日々の授業での学習の成果が出ています。また、全体的に無答率が低いことも、大きな成果であると思われます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な事象を数学的に表したり読み取ったりすることに課題が見られます。</li> <li>・ 空間図形など視覚的に捉えがたい分野の設問において、誤答が目立っています。</li> <li>・ 二元一次方程式を関数を表す式とみて、そのグラフの傾きと切片の意味を理解することが苦手であるため、日々の授業での重点的な取り組みの必要性を感じています。</li> </ul>

- ・ 証明問題や情報処理に関する設問では、比較的正答率が高く、日々の授業の成果が見られました。
- ・ 「数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理すること」を求められる問題では、数学的な考え方が定着してきていることがうかがえます。

- ・ 事象を図形間の関係に着目して観察し、対称性を的確に捉えることに課題が見られます。また、2つの図形の間を回転移動に着目して捉え、説明できる技能に課題がみられます。
- ・ 与えられた情報から、的確に必要な情報を読み取ったり説明したりすることに苦手な傾向が見られます。

### 3. 本校の学力向上に関する現在の取り組みについて



**読書活動**：本年度より移動図書館を開始しました。ビブリオバトルと共に読書活動活性化の取り組みです。この取り組みにより図書の貸出数が増加しています。



**少人数指導**：1年生数学・2年生国語で実施しています。両教科とも個に応じた学習指導の一環として、習熟度別の授業形態も導入しています。



**ICTの活用**：本校では、子どもたちの学習への興味関心を高めるため、授業でのICT活用を奨励しています。今後も有効な活用方法の研究に取り組みます。



**学習のてびき**：本校独自の「学習のてびき」は毎年校正が行われています。学校と家庭が連携しながら、家庭学習の習慣化を図ることを目的としています。

#### 4. 今後の取組みの方向性について

##### 【国語】

- ・表現力を伸ばすため、ミニホワイトボードなどを適宜活用し、班やグループ内での話し合いに重点を置いた授業を展開していきます。
- ・教科の特性を生かして、答えが一つではなく、様々な考え方によって多様な答えが出るような問題に積極的に取り組んでいきます。
- ・「わかる授業」の工夫に一層力点を置き、基礎基本が定着するよう、振り返りと家庭学習にしっかりと取り組ませる指導を心掛けます。

##### 【数学】

- ・基礎基本の定着のため、習熟度別の指導に一層重点を置き、よりきめ細かで個に応じた授業を工夫していきます。
- ・計算力を高めるため、毎時間、反復問題に取り組めます。
- ・毎授業時間に演習や振り返りに取り組む時間を確保し、班やグループ学習を通して学び合える場を大切にしていきます。

◎学習の「めあて」や「まとめ」の明確化に継続的に取り組み、生徒が自主的、主体的に学び合える雰囲気づくりをめざします。

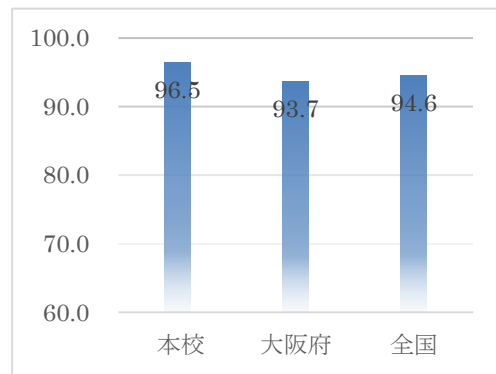
◎家庭学習習慣の定着のため「学習のてびき」の内容を随時検討し、充実を図ります。

#### 5. 生徒質問紙調査の結果の概要

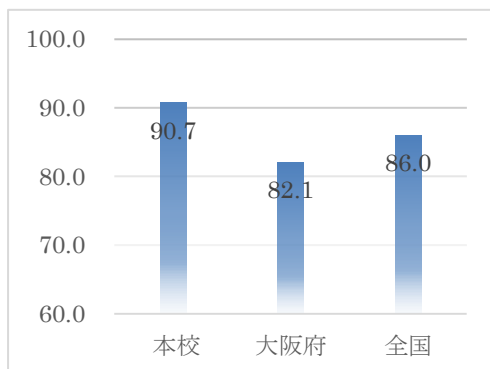
〈取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について〉

◎「学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか」という質問に対して、

96.5%の生徒が肯定的な回答をしています。社会生活は人と人との関わり合いの中で成り立っており、人間関係を築く力は人とのコミュニケーションの中で育まれていきます。学校生活のあらゆる場面で、生徒同士が豊かなコミュニケーションを図ることができるよう、これからも支援を続けていきたいと考えています。

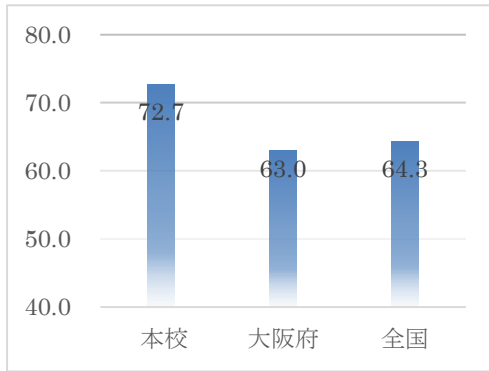


◎「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という質問に対して、



給食当番や清掃活動班での話し合いなど、日々の班活動などの取組みの成果の積み重ねが、学校行事のような大きな場面での集団の達成感につながっていると考えられます。本校では、肯定的な回答が9割を超えています。

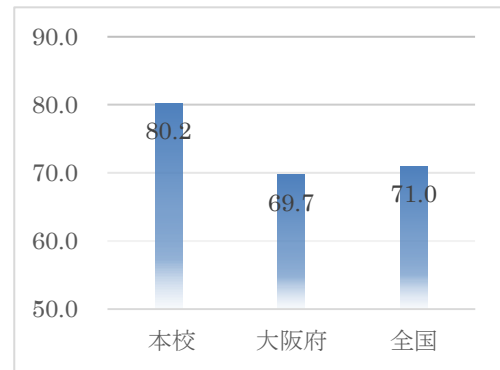
◎「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いませんか」という質問に対して、



本校では7割を超える生徒が、このことについて積極的に考えていることがわかりました。各教科において、国際理解に関する内容を盛り込んだり、長期休業中にはALTによる英会話教室を実施するなどの取組みの成果が顕著に出ています。今後も、さらに指導内容を充実させていきます。

◎「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」という質問に対して、

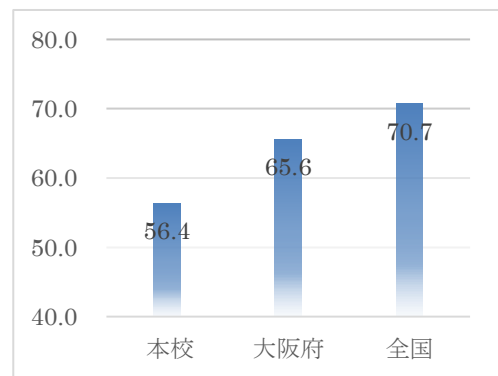
この質問に対しては、昨年度は肯定的回答が60.3%と非常に低く、「失敗したら恥ずかしい」「失敗してはいけない」という意識が強く出ていました。しかし、本年度は肯定的回答が80.2%となり、日々の生活の中で積極的に子どもを褒め、自己肯定感を高めていく取組みをした成果だと考えています。



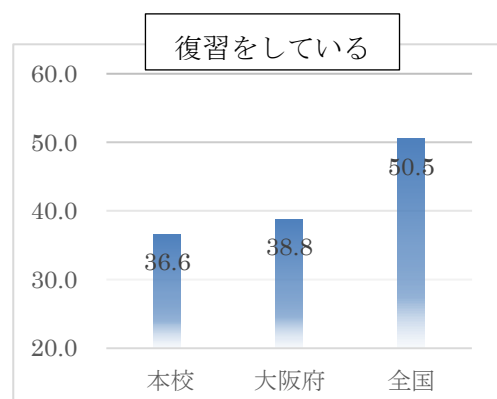
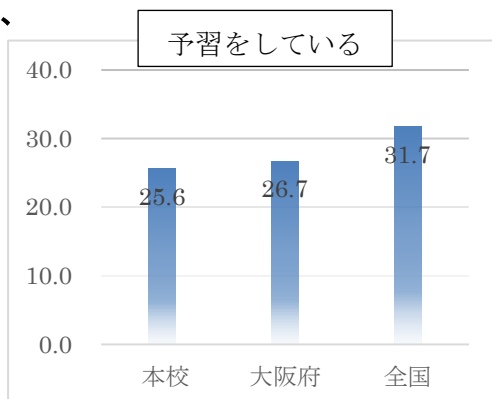
＜今後に向けて、課題と思われる事項について＞

◎「自分には、よいところがあると思いませんか」という質問に対して、

肯定的な回答が56.4%と例年と同じ数値となっています。日頃の学校生活の様子からは、いろんなことにコツコツと取り組む生徒が大半であるため、失敗を恐れずに逞しさを持つ反面、自尊心が低いため、今後も子どもが自信を持てるような支援を続けていきたいと思えます。

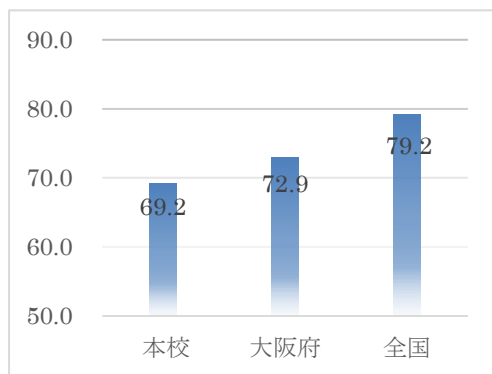


◎「家で学校の授業の予習をしていますか」「家で学校の授業の復習をしていますか」という質問に対して、



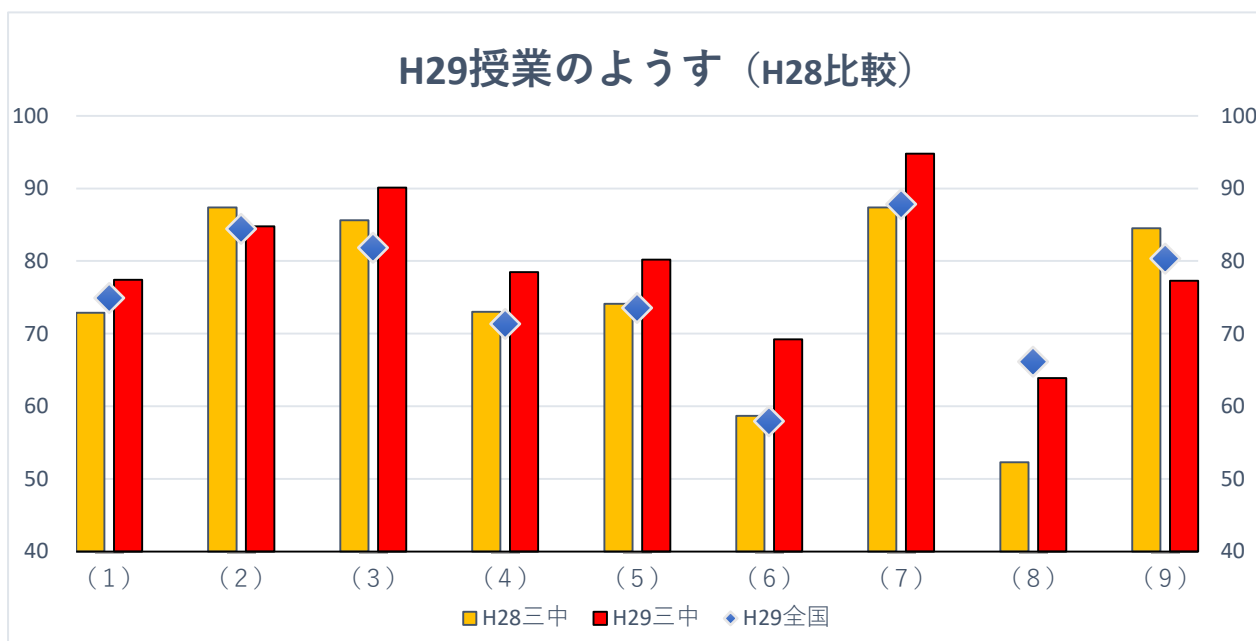
予習に関する質問では、肯定的回答が 25.6%、また、復習に関する質問では、肯定的回答が 36.5%と非常に低くなっています。このことから本校生には家庭での学習習慣が定着していないようすがうかがえます。今後は、本校が作成配付している「学習のてびき」の活用に一層重点を置くとともに、家庭学習課題についての研究を進め、その内容をより充実させたいと考えています。

◎「学校で好きな授業がありますか」という質問に対して、



本校では以前より「授業づくり」についての研究に取り組んできましたが、肯定的回答が 69.2%と低い数値を示しています。今後も生徒にとって「わかる授業」「興味関心の高まる授業」を展開するための工夫改善に取り組み、一層研究を進めていきたいと考えています。

【授業のようす】



<質問項目> 1・2年生の時の授業では・・・

- (1) 先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか
- (2) 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか
- (3) 生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか
- (4) 学級やグループの中で、自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか

- (5) 生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか
- (6) 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか
- (7) 目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか
- (8) 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか
- (9) ノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか

授業に関する質問項目においての肯定的な回答は多くの項目で前年度の数値を上回り、また全国平均と比べても良好な結果を示し、子どもたちの実感からも授業改善が進んできていることが確認できました。

特に、話し合う活動やグループでの学習活動はほぼ定着しています。また、自分の発表を工夫することや相手の考えを聞きあうことも各授業において取り組まれており、落ち着いた雰囲気の中にも活気ある授業を今後もめざしていきます。

「振り返る活動」も昨年よりは改善傾向ですが、まだまだ不十分であることがわかりました。本年度の授業づくりの重点項目にして各教科で取り組んでいます。

ワークシートやノートの工夫を行い、一時間の授業内容を振り返ることのできるような内容になるよう充実を図っていきます。

## 6. 保護者・生徒のみなさんへ

### 【保護者のみなさんへ】

- ・家庭での学習習慣の定着のためのサポートをお願いします。
- ・子どもとのふれあいを大切にし、会話を大切にしてください。
- ・子どもの自尊感情や自己有用感を高めるため、機を逃さず認め、褒める機会を大切にしてください。自分を大切にすることは子どもは他者も大切にします。

### 【生徒のみなさんへ】

- ・自分で考えたことや自分の思いを、自分の言葉で、しっかり相手に伝えましょう。
- ・自信をもって、いろいろなことに積極的に取り組みましょう。
- ・家庭での生活習慣・学習習慣については、目標と具体的な取組みの方法を決めて、できることを増やしていきましょう。特に、学習については予習・復習にしっかり取り組むことが大切です。

